露西亜の実生活

宫本百合子

けれど、一方から見れば非常に合理的に営まれている。 造 の組織が社会主義的ラインに依って非常に多くのものを清算し改 画が着手されてから、個人商人の激減と工場及び凡ての官公署内 て来るし、一九二八年――まして一九三三年の生産拡張五ヵ年計 拡まっているが、実際内部へ入って見れば、 したために、各個人の実際生活が一方から見れば窮屈みたいだ ソヴェト露西亜の実生活については種々反動的なデマゴーグが 年々状態は好くなっ

最近モスコーの中で個人資本で営業している店が二パーセント

露西亜の実生活 官僚 五カ 理 資格労働者が十万人も養成されつつあるが、 でなく住宅問題、 五. ならねばならぬという熱心が非常に強い。 由 例えば今年の秋の初め、 減 った。 は消費組合内の反革命的分子の策動と、 主義を掃蕩するための軽騎隊などを組織 週 年計画が凡ゆるものの根柢になっている。 若 間 い労働者の間では、 失業者が統計上のみならず、 衝撃隊 消費組合の問題を扱っている。 (生産に従事する労働者の能率増 野菜が非常に配給困難に陥った、 専門技術を勉強して資格ある労働者 実際的に絶無となり、 今ソヴェト露西亜 じて、 運輸状態が 未だ労働力が その完成のために (進の特志団) 工 一場内ば 悪か 足 その かり では りな

に

有

為

めに起ったことである。

そう云う場合に実際活動をして、

消費

た

る。

婦 組合の監督運輸方面を活溌にさせたものは衝撃隊と、 人労働者の中から選ばれた代表者の仕事であった、 勿論凡ての 軽騎隊と、

寸 .体は男女の労働者勤人から成立っている。

とにしている。 年以上勤めた者に、 軽 工業の生産品を、 例えば外套、 特別の(オールデル)を渡して配給するこ 今年の冬は一つの工場、 防寒靴、 布地等をそういう組織で配 その他の勤め先に

給している。

食糧 わり切 今ソヴェトは重工業に力を入れているから軽工業の生産品は 及び軽工業の生産品にも左程ひどく欠乏を感じずに暮してい れない。 その代り忠実に生産に従事して働いているものは

0) あるが、 希望の満ちているところと云える。 言に云えば、 世界でほんとの意味の不景気でないところ経済的に民衆 ソヴェトは建設時代の種々の困難を経験しつつ

定まる。 生活費の点でもソヴェトでは例えば家賃、 電話料 電燈料 水道料等も各個人の収入との比例によって 教育費、 ある場合食

け で食堂の食事が食べられる、 て来る。 出て、 画 かきや作家等は一ヵ月の収入が不定だから、 例えば作家クラブ等では、 それに依って毎月家賃でも凡ての生活費の支弁率が 五ルーブルの食事が二ルーブル半で 団体に属している作家は半額 毎月の収入を届 変っ

出来る。

その他金融、

健康保護、

休みの家、

時には作家の家族の

生活保証まで特種な組織があってやっている。

は は一寸他の国で想像の出来ない根柢的な安心がある。そこで革命 無駄にやったことではないと痛感する。

ソヴェトで或る組織の中に入って働いている人にとって、

所有権から利用権への推移

ている。 所有権と云う観念が、 今のソヴェトの若い人の心持の中で、 何故ならば、 小学校の教育時代から個人主義的な(自分 利用権と云うようなものの観念に変って来 過去の人々のもっていた

のもの、 自分が持たなければ使えないと云う)ものの考え方がす

露西亜の実生活 文部省から支給されている、 明日いらなければ別の子がそれを使う、みんなにそれは必要な品 けば有る。 っかり変えられている。 必要だから皆が使う権利をもっている、そしてそれを自 昨日Aという子が使ったものを、今日は自分が使う。 学校は食事も勉強に必要な学用品類をも 子供は勉強に必要なものは学校へ行

る。 分だけで専有することは間違っていると云う心持が養成されてい クラブにしろ、 種々な研究会に於てにしろ、凡てその主義で

である。

生活する場所の文化的設備増大に対する関心は、 行われているから、 刃でない感情になっている、 って来る。 益々社会主義的感情が、 自分で買込んだり貯め込んだりする興味が減 従って若い人々が自分の働く場所、 自然に若い時代の人々の附焼 注目すべきもの

がある。

中心になっているのは当然ピオニェール、コムソモールである

が、党員以外の若い者は、男女を問わず革命以前に見られなかっ

た新人間として成長しつつある。

今六十二ルーブルとる程度に上っている。 一般月給は最近二年間に、例えば四十五ルーブルだったものが

(一九三〇年十一月)

青空文庫情報

底本:「宮本百合子全集 第三十巻」新日本出版社

1986(昭和61)年3月20日初版発行

初出:「時事新報」

1930(昭和5)年11月13、14日号

校正:土屋隆 入力:柴田卓治

2007年8月14日作成 青空文庫作成ファイル:

このファイルは、インターネットの図書館、

11 青空文庫(http://ww

12 w.aozora.gr.jp/)で作られました。入力、校正、制作にあたった

ギーのは、ボランティアの皆さんです。

露西亜の実生活

宮本百合子

2020年 7月12日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL http://www.aozora.gr.jp/

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL http://aozora.xisang.top/

BiliBili https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks 青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/ ※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。 http://tokimi.sylphid.jp/